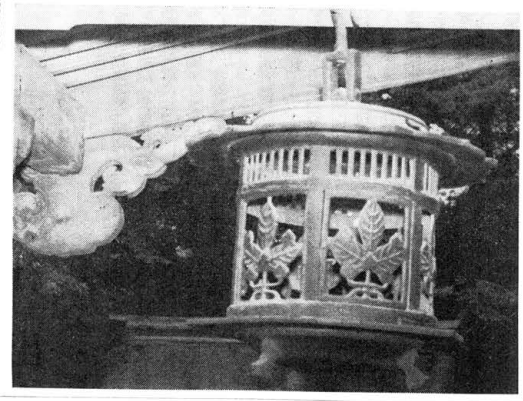
宗像

毎月一日発行
発行所
宗像大社
福岡県宗像郡玄海町
電話神湊133番
定価一年送料共500円

釣り燈籠

夕闇がおとずれ
灯をともす
いままで定かで
なかったものが
顕われる

真実
正義
明浄

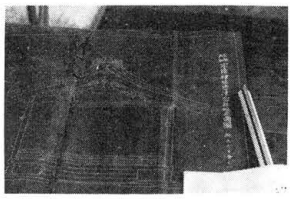


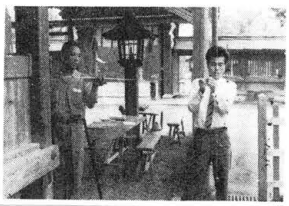
重要文化財
宗像大社御社殿実測終る
——来るべき御修理に備えて——

ここ数年来当社建物のシロアリ被害が著しくなって来た。当社ではこの状況に鑑み、去る昭和四十一年六月、本殿、拝殿、其の他の建物、境内の御神木、考楠に至るまで専門家に依って、大々的なシロアリ駆除を行ったが、既にシロアリによる破損被害がひどく、このまゝでは一部倒壊の恐れがある事が判明した。この為、大社では国に対して昨年シロアリ被害の実態を調査されるよう要望した。

かくして、本年二月二十一日、文化庁建造物課、高畑技官、県文化財嶽渡主事が被害調査に来社された。

調査結果は新聞紙上で周知の通り、倒壊寸前の状態にあるので文化庁保護委員会をとおして、国に改築の申請を要請するよう指示を受けた次第である。





神具、装束
結婚式場用品
株式会社井筒
福岡支社　福岡市吉塚西林寺町四五六　西林寺内
電話(65)九四五六
本社　京都市下京区油小路通六条北入
電話　京都(35)六三三〇・六六六〇・六六六〇・六六六〇番

去る十五日、文化庁から香椎宮に来宮中の田原建築技師、同鹿谷工事主任補佐に連絡があって、同技師二名が実測調査に来社された。ここに本殿修理事業は一歩前進した事になる。

氏子、崇敬者各位から、御本殿解体、修理について暖かい御支援を頂いているので、当局に対して憂いのないよう完璧な修理を要請している。

何卒皆様の絶大なる御支援をお願いする次第です。

宝物館休館のお知らせ

七月十日から十月三十日まで宝物館は休館します。既報の通り、八月から東京出光美術館に於て宗像大社宝展が開催される。

この為、六月から沖ノ島神宝を始め国宝、重要文化財等の搬出準備が始まった。この度の神宝展は今まで未公開のもの多数が含まれており、宝物類は全て東京に移される。この為、当社宝物館は来る七月十日から休館する事になった。

罪、けがれを祓い清める
人形祓いの御案内
＝返送は七月三十一日までに＝

来る七月三十一日は、恒例の夏越の祭りが行なわれます。

この祭りは、六月の大祓いとも云われ、一年の半期に自己が意識する、しないを問わず、今まで犯して来た心身の罪、けがれを人形に托して祓い除け、清々しい気持をもって、明日の生活を安らかに豊かにする為の祈りをこめた祭りであります。

当社では、全国の特別崇敬者四萬名の方々に、赤白の紙製人形を郵送しております。

この人形に男の方は白、女の方は赤に、氏名、年令を記入して息を吹きかけ、枕の下に敷いて一夜を過した後、御返送下さるよう御案内申し上げております。

大祓い神事は私達の祖先から伝えられた大切な生活の智恵であります。

季節の折り目くに、心身を一新して更に前進しようとする心構えは、祖先から伝えられた清い慣習と申せましょう。

当社沖ノ島神宝の中には、滑石製品で、人の顔かたちを彫った人形石、馬を形取った馬形、舟形等があり、既に千四百年以前にこのような神事が行なわれていた事を知るのであります。

この信仰は綿々と伝えられ、続けられて、現在特別崇敬者の皆様に御案内申し上げております。

人形は七月三十一日までに御返送下さい。

論説
野良着の四季

社会情勢の変遷が、田園の隅々まで微妙な影響をもたらし、政治の進展する方向が、農家の台所まで、利害関係を持っていることも、農業一途の野良着姿は知っている。農山村と言っても、マスコミへの関心は強い。その彼らは、恰も昨年の約束を今年も実直に果すかのように、耕作に励み、飼育に努め、何十年来かわらぬ仕事に、四季のこよみを追ってゆく。

農村に生まれた者の誓約さえ、感じられる誠実さが、老農たちの野良着に満ちている。人間は不平を言う動物である、ときめつけても、それは労働をいとい、賃銀の多きをむさぼり、理屈をならべて要求と反対との功利主義一天張りの連中に、あてはめられる言葉であって、黙々自然の垂示に従って、大地に親しむ田園の人々には無縁の拙劣な非でしかない。不平はあったとしても、自然の恩恵には感謝し、作物を愛しつづけているのが、真の姿である。

一群の老若は、近くの鎮守の森を挂み、過ぐる大戦に村を出て還らなかった英霊の小社に頭を下げ、不言実行の仕事を着実に進めている。風雨をものとせず、祖先の受情の歴史がこめられた山野を、強い愛着心が守ってゆく。教えられて出来たものでない責任感が、執念となって動いている。

それに誇りを意識してはいない。誇るべきものを持っているとは、決して思っていない。かえって誇るべきものを持たぬ幸福、との見方も出来るのである。

今春一部の学生の暴力的行動のため、伝統ある卒業式を中止した東大の学長が、卒業生に異例の告辞を送るに至ったのであるが、その中に次のような要旨が含まれていた。

「最近はやりのマイホームの、ささやかな安楽にすべてを託すのも考え直してもらわなければならない。諸君が強い自我と、豊かな個性を明日からの職業生活に浸透させることこそが、今後の日本の平和と自由の保障である」と。マイホーム主義の安楽追求を、警告しているが、自己の職業に対する愛着心と、責任感、強い自我をその生活の中に活かし、田畑を守る気概を貫いて、農民魂を養いあげてきた個性の豊かさを、彼らは立派に持っているのである。天下のエリートたる東大出の学歴はなくとも、自由で旺盛な主体性を堅持せよとの訓戒はうけなくとも、野良着はホワイトカラーの得難い修練と確信を護持している。

農村の一角を選挙運動の車が走る。曰く、平和を守る党。曰く、働く者の味方。聞いていた仕事帰りの中年農夫は、微笑の一言。

「平和、平和というが、平和の嫌いな者が居るか。働く者の味方なぞと甘いこと言うな。金バッジやめて、鉄のくさりでも着けろ」と。弁舌巧をもって世に出、その芸で内面生活を粉飾する労働貴族の「大衆的」なるミエと、対立斗争の保身術をはき捨てゝいた。

ある農家の翁と語る。

「戦死した息子と同じ年頃の青年たちが、次々に百姓をきらって楽な生活に憧れて、都会に出て行く。そして悪しこを覚えて帰ってくる。辛抱を知らない青年を見ると、平和だ、自由だと教えた学校が情ない。教育が狂っている」と。

しわの刻まれた老顔に、幾十年祖先伝来の大地を愛した素朴な感慨が読み取れる。

「息子は愛国心をしっかりと抱いていた。勲章も恩給もいらない、今の青年に愛国心を、黙って働く辛抱が欲しいと思うだろう」

その通りである。勲八等が欲しくて命は捨てられず「青春の遺書」はつゝられない。政府はこの頃しきりに勲章を出して、人を笑わす商売の芸能人まで喜ばしている。反対することもないが、人気取り政策なら感心も出来ない。

素朴な老人の願いは、俺達と長い間、国民を養う食糧を作った功労がある。それに報いとの注文でもなければ、誇りがましい権利の要求でもない。断固たる態度で、教育の建直し、国民の不安を除去するための法秩序の確立、その辺にあるのであろう。

功利的な人生観や、社会観に立っては、自然に親しむ野良着の人間味は理解されまい。四季はめぐる。誇るべきものを持たぬ者の幸福、それはめぐる四季の中の、大地への愛着と、太陽の恩恵とが、惜しみなく与えてくれている。素朴な農民の心は、そう信じている。

（白雲）

阿蒙少言

「よい子を産むには、ひどい陣痛がある、心眼はきびしい試練の鞭によって開く」と、北陸路を旅して職いた老大家の達識の一言。書物から学んだのではなく、長い人生行路に七転八起、幾多の苦境を乗り越えた処世の珠玉の井は、強い意志のいぶきを感じさせる。

「可愛い孫を容赦なく打つ」京都先斗町の老師匠の芸道。同じ指導ぶりは相撲道の師匠にもある。修練の累積なき一道の形姿に、光る中味はない。○理想なき商法、人気だけを気にする芸術、汗をいとう武道、いずれも上昇を知らぬ下降線の曲を奏でるもの「結果自然に成る」の平凡な道理に叛くもの。名声を追う政治も同じ。○道義を説けば古いとけなす。歴史を無視すれば、進歩的と呼ぶ。非精神的な人生観、社会観に立って、政治や、教育に破壊的言動を弄すれば、民主的、文化的と誇る。無責任な言動が勢に乗ると、国家民族にとって救いがたい痛恨事をひき起す。国に風が吹くとき、一人の傍観者の存在も許されない。

○一結局は孔孟の教えに現実の衣を着て進むことになる。西欧から入れた思想も、文明も、着た方が都合がよい方便の衣である」と、ある中共の要人がひそかに語った由。東洋的道義観が、種々教えてくれた西欧思想の洗濯をして、あちらへお返しすることになるか。○「女性がある男性に魅力を感ずると、その姿が大きく見えてくる」と言う。解放と自由を説く思想は、秀れたものに思われ、平等や権利を叫ぶ旗印は、大きく目にうつる。対立斗争が続く限り、労働貴族の巧みな口車の廻転を喜ばせるだけ。○東洋は東洋に、日本人は日本人にかえって、国風に適った人倫にもとづき、一切の社会的矛盾を解決してゆかねばなるまい。

暑中御見舞申上げます

APOLLO
出光

福岡市大名2丁目8番26号
出光興産株式会社福岡支店
取締役支店長　中野太平

北九州市門司区錦町3番7号
出光興産株式会社門司支店
取締役支店長　斉藤純一

七月のまつり

七月一日　月次祭　午前十時

七月十五日　祇園祭　午前十時

七月十五日に行われる夏祭で、夏のさかりの農作物に、風雨害虫害のないように、亦悪病や天災が流行しないように、境内に祭られている末社、須賀神社――祇園の神――に祈る祭りである。

七月三十一日　夏越祭　午後五時

〝みなづきはらえ〟ともいう。陰暦の六月晦日に行う大祓のことで、一年を二回に分け、その前半期のうちにしらずしらずに犯した罪けがれをお祓いし心身を清浄にする行事で当大社の大祓式である。

当社では、古歌「水無月の夏越の祓する人は千とせの命延ぶという」を奉唱して茅の輪をくぐる神事がある。郡内は勿論、全国の崇敬者から集めた人形（ひとがた）を祓って、その安全と幸福を祈る祭りである。

今月のことば

「魚は水中に在りて水を知らず人は妙法の中に在りて妙法を知らず」

魚は水の中に住んで却って水の何たるかを知らない。吾々も亦神の意志により此の世に生を享け、神により育ち生きている。吾々は初中始終、神より離れることはない。かくの如く神と密接不離なる故に神恩の何たるかをしばしば忘却する、心すべきことである。

由緒略記

「宗像神社」出来る

――復興期成会が編輯、刊行――

昨年八月より写真撮影・編輯に入っていた由緒略記「宗像神社」が愈々刊行される事になった。

当初は「宗像神社要覧」と仮称されていたが、簡略に「宗像神社」となったもの。

表紙は辺津宮本殿流れ造り、屋根上部を大きく取り上げ、裏面は檜の若葉をあしらっている。

内容は第一頁に宗像三柱姫大神の御名が墨書され、神勅扁額が カラーで一頁大に掲げられている。次頁は沖ノ島全景鳥瞰が二頁にわたっており、三宮が一直線上に鳥瞰出来る写真等もある。

三宮の位置案内の後に三宮の本殿、参道、社全体の遠望図が收められ、次に由緒が述べられている。後半は祭り紹介にあてており、秋季大祭、献茶祭、古式祭、大祓、新年祭、春のまつり、沖津宮現地大祭、五月まつり、夏越まつり、七夕まつりの順に写真と解説がなされている。

神宝の項には、沖ノ島調査の貴重な写真等が掲載され、沖ノ島神宝は カラーで美しくなっている。年間行事を網羅する為、其の度毎に専門家が出張、撮影にあたったが、天候等の関係で、予定通り出来上らなかった面もあるので、今後増版の際に差し替えてゆく予定との事である。

これで当社関係パンフレットは二点又 Munakata Taisha「宗像大社宝物館」「宗像神社」の三冊となった。

この度の「宗像神社」は目でみてわかりやすく云う方針で編輯されており、写真を多く載せ、説明も簡略平易に述べられている。来るべき大復興計画を控えて、崇敬各位、及び一般の方々に差し上げ、宗像神社を良く知って頂き度いと関係者は願っている。

B5版三十二頁、発行は宗像神社復興期成会。頒価は一冊三百円送料五十円。お申込みは宗像大社文化財管理事務局へ。

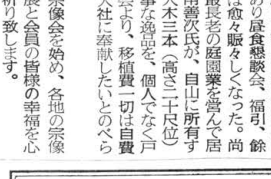
沖津宮に鳥居を建立

――大島の奉賛会――

去る六月十五日、沖ノ島沖津宮参道移殿所脇に白木の鳥居が建立された。

この鳥居は大島村が材料を奉納、沖、中奉賛会が奉仕して出来たもので、去る四月中旬、大島中津宮境内で切込み、組立てを終了。五月二十七日、沖津宮現地大祭、当日漁船に乗せて出航したが、荒い波浪の為引返し、此度の建立となったもの。この鳥居建立に当っては、全奉賛会長、河辺嘉十郎氏が率先奉仕された。大きさは四メートル大で、丸太作りの素朴なものであるが、大島奉賛会の誠心が込められている。

又、沖ノ島参道脇に新しいのぼりが奉納された。大島村の大栄丸が連続の大漁を感謝して奉納したものである。



宗像談話室　二浪悲願

人学者が居た。この頃はやりの教育ママの声援はなく、独立独歩、大器晩成の確信におちついていた。たのもしかった侍どもよ。

「来年こそは」「しっかり勉強もまた楽し」と言わぬはかりの、まぐれ入学の顔が、ニヤくしながら同じ画面を見ている。受験前に体重十三キロをふやしたご本尊、よく食ってよく眠ってケガの功名で二浪候補を辞退したつわ者だけあって、学友の浪人暮しの内幕をよく知っている。

今春失敗したばかりの学友は、滅多に顔を出さない。表面だけは一応臥薪嘗胆、刻苦勉励のZ旗を掲げているつもりか。

「ご期待にそいませんで、どうも……」と現われるのは二浪組。誰が期待するもんか。二浪ともなれば、さすがに浪人すれがしている。平気なものである。何不足ない様子は、浪人天国と言いたい。

四十年前を想い出す。昔は根気のいい奴が多かった。高等商船に九回、弁護士試験十三年、まさに大学教授以上の年期のはいった浪人者が居た。この頃は根気だの夢なぞほない。あわれなる者、君の名は母である。

「あの子は、気晴らしにナイターにおりました。」「遊ばせてはいかん、もっと根性を持たせなくちゃダメだ」

夫婦の夕食後の会話は、はしなくも家庭争議に発展した。

「俺に似れば頭はいい筈だ。俺はストレートで難関を突破した」

「私に似たから、頭が悪いという意味ですか」と、ウツプン晴らしの勇ましい反撃が、戦雲を呼んだ。この頃二浪は、のんびり球のゆくえを楽しんでいることろう。家庭ナイターは見物する価値がない。犬も公り向かぬ。

「お宅この前は天神さまだったしてくれ、し過ぎて病気になるな」と、エンジンかけたり、ブレーキふんだり、はれものにさわるような母の日常。こうなっては名門校に入れてエリートコースを歩ませたいなんと、世の教育ママがいの一言が発端。

「落第をこちらの責任にされてはたまらん。頭の善悪は先祖の罪で、怠けぐせはおやじの遺伝、からだの弱いのはおふくろの甘さによるんだ。とかく大学があることが一番悪いんだ」と、さい銭あげて祈られた仏様が、ごぜ宣託をくだすかも知れぬ。

鈍馬がゆく、厄介な荷物を背負って、青春をゆく。学歴という名の悪路に引かれて。

――狸住庵茶話――

× × ×

たなばた揮毫会打合会

中津宮七夕揮毫会は、既報の通り来る七月二十二日開催の予定であるが、去る六月十日、その実施についての打合会が地元大島で行われた。出席者は、大島村教育長、大島小中学校の先生方、PTA会長、郵便局長、渡海船并天丸船長の諸氏と神社職員一名。

本揮毫会は中津宮境内に、古くからおまつりしている蚕年、織女の七夕さまの御神徳にあやかって、郡内児童生徒の書道向上を願って発足したものであるが、今年で既に十三回を迎え、今では、すっかり小中学生には、なじみ深い楽しい夏の行事となり、近年は郡外からの参加者も見られる程の盛会となっている。

然し、その運営にあたっては、目に見えぬ隊の苦労もある。一般の場合と異り、海を隔てた島で行われるので輸送が大変である。而も当日は審査、成績発表、表彰と続く関係で、午前中に席上揮毫を終了させるため、早朝から渡海船二隻で、子供達と付添父兄のピストン輸送が行われる。そして各学校の乗船区分、時間の配分、更にはバスの乗車時間等、混雑を避けるため、綿密な計画が樹てられる。また、輸送の安全の為に、当日は大島救難所員が船に乗り込んで監視に当っている。席上揮毫会場の大島小中学校では、先生方が休みを返上して、参加児童の受付、整理、監督等に当って頂くが、便船の関係で数回に分けて行われるため、その御苦労は大変なものである。更に、地元の大島村では、参加者への休憩所の設置、湯茶の接待、余興のささえ取り催しなど、少しでも楽しく島の一日を過してもらうように村をあげての協力がなされている。以上の具体的実行計画が種々審議され散会した。

昭和四十三年度

戸畑宗像会総会行われる

去る六月二十三日、日曜日、例年の如く戸畑宗像会員である田中氏経営の豊山閣に於て行なわれた、本年は快晴に恵まれ、出席会員も非常に多かった。

先ず総会は開会のことばで開かれ、竹内会長は開会のことばで、引続き前年度の諸親報告があり、事務担当者の会計、事業、監査報告がなされた。本年は役員の任期満了で規約の一部改正の審議の後、役員の改選が行なわれた。各地区の理事役員は若干の入替りがあったが、会長を始め、おもな役員は留任のままというなごやかな改選であった。

竹内会長は宗像神社を中心とし、生活環境を同じくして育った郷土人が、幼い頃の思い出の回想に、或いは心をゆるして交わすこだわりのない雑談等、宗像会の集いは現今の険悪な社会状勢下に於て生活の憩いとも糧ともなって居ります……と挨拶された。

続いて新年度の事業内容が発表された。

六月　総会
七月　会員名簿発行
八月　会員消息発行
十月　宗像大社参拝
十一月　親睦会
十二月　親睦会

以上の通で、会員拍手により承認されました。

宗像大社より久保宮司上京中に付職員一名が出席し、神社の近況、並びに勅祭社御加列運動の経過、又御復興事業の大要が説明され、続いて吉田前北九州市長の祝辞があり昼食懇談会、福引、餘興と会は愈々賑々しくなった。尚会員中最長老の庭園業を営んで居られる南善次氏が、自山に所有する榊の大木三本（高さ二十尺位）誠に美事な逸品を、個人でなく戸畑宗像会より、移植費一切は自費で宗像大社に奉献したいとのべられた。

戸畑宗像会を始め、各地の宗像会の発展と会員の皆様の幸福を心よりお祈り致します。

宗像大社御用　綜合印刷
有限会社　大和印刷所
宗像郡宗像町東郷　電話　宗像局2027番　有線277－1番

第六五回　宗像大社献詠歌

毎月十五日〆切　詠草到着順

光打つ物の如くにもろもろのものみな光る初夏の朝　大井　吉田　杏子

香　椎　桜井　ツ子

み社の刻の大鼓がひびき来る正にさつきの暁のこえ　遠賀　長畑　房江

〝女夫〟刊行に詠める

一年をかけて成りたる我が〝女夫〟の手許に届く日空晴れ渡る　津屋崎　麦野　時雄

老身の一人留守番無聊にて花のカタログくりかえし読む　田　熊　鷲頭かつ代

吹きしきる風に日すがら揺れやまず危ふく保つひなげしの紅　千　葉　永島　哲夫

与謝の海は吹雪はげしく舞い狂いさぐれど見えぬ天の橋立　篠田太郎坊

久留米　篠田太郎坊

シャガダラへ追われし乙女等が恋いしこと平戸の朝は鳥なくなり　大　井　村山　幸生

蜂蜜の花さえ見えて去年かも接きにし柿の若葉茂れる　田　熊　小野角次郎

朝日うけてかもめは白し海上を低くとぶ鳥ひろく広さをなして　田　熊　小野かをる

卯の花の白き雪をふくらませ卯月垣根に粒々咲けり　別　府　井上陽之助

にきわしき三号線のちまたにも流石に夜わの静けさぞみつ　朝　町　井上陽之助

米に富む壱岐の狭田重なりて積む石垣に春陽ふまれし　大　島　越智　治子

朝ぁゃに煙る海と天空のくぎりわかたず汽笛行き交ふ　宮　田　片山　一

起きぬけに雨戸をくれば朝空に呼びさますこと半月のあり　吉　武　原田　松代

飛行便花の鈴間居さけり二世に渉る友の優情　吉　武　原田　リノ

陽のさして輝やき出でし大島はそこに見ゆれど十二粁といふ　勝　浦　永島　文子

名見山の峯にかへれる白雲の松原こしに海ゃ棚曳く　勝　浦　永島　文子

福　間　森　八蔵

皇国の興隆決めしこの日なり今朝この浜に停ちこの浪見て居り　福　間　森　八蔵

朝ぁゃに煙る海と天空のくぎりわかたず汽笛行き交ふ　大　島　越智　治子

夕立の待つ心にもにし池の辺の鯉の島ぎきげくなりゆく　田　島　乙守　信平

海十里幸をもとめし漁方のいさり火はるか沖のかなたに　田　島　城戸　敬次

器やく煙の煙のうらうらと山の狭にただよはせをみし　田　島　末安　大孝

緑濃き野の里に幾すじかたゆらにのぼる陽炎く煙り　田　島　山田　幸雄

幾重にも緑まりなす福智山蕨林（はやし）のふかみ滝のたぎる　田　島　井上　託子

雷一つ遠き天路を馳せめぐり空間はるか雨雲を呼ぶ　村山田　吉田佐市郎

殊更に緑色こく朋ゆるなり伐り残されし許嫁山頂　深　田　中野　節子

すかんぽの花咲きたけし一本遺代掻き終へし耕運機通る　福　岡　江崎　琴子

ふりさけて自路遠くみる玄海の神の湊の夕ばえの色　吉　田　古部　由久

大干潮豆時きし如人群れて貝堀るもあり海藻採るあり　大　井　木原　房子

白浪をたてて満ち来し朝汐も夕は凪ぎて入日映ゆるも　大　井　吉田　和子

機械化し牛馬減りて農道は荒れ生ふ草と歩き難かり　福　岡　林　まつえ

渺々たる天草の洋見はるかし人々思はず山陽の詩を誦す　原　町　八波　五月

警察官となりし吾子へのたよりには先ず身をつゝしめと強くさとしぬ　東　郷　藤崎　辰子

僅かなる雨を貪り吸ふことく南代のひびひろくあらはに　武　丸　立石ろせ

バスおもきふるさとの野路歩き来て今日の一日を疲れて帰る　別　府　井上　トヨ

福崎峰北郎先生を悼んで安らかに君逝き給う芳せは生き続く哭り胸に残れど　福　岡　田島　白雲　山人

まもるもの功とやめし鷲が峯仰ぐ越路に風おおるなり　田　島　楠本　正

暑中御見舞申し上げます

西日本相互銀行
福間支店
福間支店長　中西隆治
電話　福間(2)1231　1233番

福岡相互銀行
古賀支店
古賀支店長　古賀信任
電話　古賀　3636～38番

福岡銀行
宗像支店
宗像支店長　中村悟
電話　宗像　2017．2214．2721番

七月一日から実施
交通反則通告制度

昨年の国会で成立した交通反則通告制度が愈々この七月一日から実施される。

この制度は、一寸した不注意等による比較的軽い違反に対して適用されるもので、従来違反行為の全てが裁判に附され、前科となり一億総全科などと云われる時代を招来した。この為前科の社会的地位が改めて検討されて、この度の制度が設けられたものである。この制度では、軽い違反については裁判手続を経ないで、反則金を納付する事によって事務手続の簡略化と違反者の便利を計る事が出来るとされている。

◉この制度の適用を受けられない者は、今までとおり刑事裁判になる。

○ひき逃げ、酒酔い運転、過労運転、無免許、無資格運転、超過速度二十五キロ以上の速度違反などをしていた者。

○違反をして過去一年以内に免許の停止処分を受けたことのある者

○違反が原因となって交通事故を起こした者。

右のような悪質危険な交通違反にはこの制度は適用されない。

又

○住所、氏名が明らかでないとき

○逃亡のおそれがあるとき。

○告知書や、通告書の受領を拒んだとき。

もこの制度は適用されない。

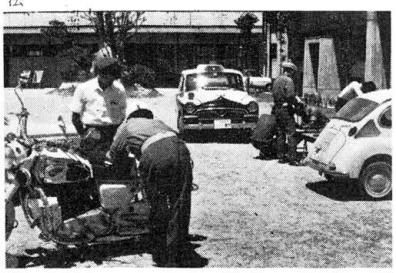
⊙反則金

反則金とは、罰金に代わる交通違反に対する制裁金であるが、罰金と異る点は前科とならない事である。

反則行為の種類は六十三種にわかれていて反則金はそれぞれ一定になっている。一覧表が作成されているから誰でも計算出来る。

勿論違反が重なった場合、反則金は加算される。

◎反則金納付の方法



反則行為をして、警察官から告知され、告知書と納付書が渡された運転者は、その翌日から七日以内に納付書に書かれた反則金を仮納する事が出来る。

納付金額が正しく納められていれば、違反の告知書で出頭指定がされていてもその必要はなく、事件はこれで終了となる。

納めるところは国内の銀行、郵便局どこでも良い。

福岡教育大学
体育施設を充実

去る六月二日午前十時、福岡教育大学に於て体育施設開きが行なわれた。

大グラウンドに祭壇を設け藤吾学長、教職員学生五名の参列により祭典は始められた。「遥かなる理想の為、心を練り身を鍛えむ、若人等に手の過ち足の躓き無く……」祝詞奏上が完りグラウンドの清め祓いを行なう、青風が白い切り幣を散らして行く、玉串奉奠を終え式を閉じる。引続きグラウンド開きを行なう。スタートラインに学長、教授、事務長、学生、二十名余りが並び号砲発、老若、師弟、打ち揃って駆け出す。学長が断然トップを切りゴールインする。歓笑が城山山麓にこだまする。

この日開かれた施設は、陸上競技場、大体育館、小体育館、武道館、テニスコート、プールである。亦その規模は次の通りとなっている。

陸上競技場、三層建設の施工によるもので、四〇〇メートルトラック、フィルド中に全陸上競技の施設を有する。

大体育館、一六三三平方メートル

小体育館　五二二平方メートル

武道館　四三二平方メートル

何れも鹿島建設の設計施工によるもので武道館の内部は、柔道場、剣道場と分けられ西日本一を誇称する内容を有している。

テニスコート　五面

プール　五〇メートル公認プール二面

亦、来年度は、野球場の建設が予定されている。

この城山山麓に偉容を誇る体育施設群を見るとき、この充実した施設の中で技術を練磨した学徒が教師となり活躍を始める暁には、次の世代の国民は知育、体育共に調和のとれた、たくましい日本人が形成される事と思われる。

宗像の諸城
城址を訪ねて (九)
許斐城址

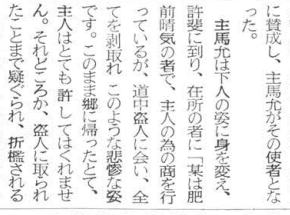
この城に於ける攻防戦は、特に室町時代末期に及んで激しさを加えている。

この頃の物語を綴りてみよう。

まず天文二十三年からの戦記に依ると、立花城々主の但馬守鑑載は、奴留湯麓泉、高橋鑑種等と呼し合せ、豊後の大友勢に後盾を請うて許斐城の麻生隆実、占部尚安の両将を撃たんと計った。これを聞いた両将は、多勢に無勢、このまでは勝算なしと見て、毛利に加勢を願い出た。しかし毛利も石州出雲の戦いに狂奔して居り、それどころではなかった。ここに両将進退極って、先ずは開城し、時節を待つより他に策なしとして大島へ逃れ渡った。

弘治元年（一五五五年）それでも占部甲斐守尚安は、どうにか神楽までは寄せ返した。しかしこのまま許斐城を攻めることは蟷螂が斧を挙げるようなもの、かといって我祖先の取立てた城に敵を入れて置くのは忍び難い。又毛利の加勢を待つことも出来ないとして、何か良い策はないものかと評定した。

すると神屋主馬允という者が出て



「某がある他国の者と謀り、奴留湯へ奉公し、敵の田断をみて知らせよう。そしたらその時押寄せて敵を討取るのが良策ではなかろうか」と申し出た。一同はこの意見に賛成し、主馬允がその使者となった。

主馬允は下人の姿に身を変え、許斐に到り、在所の者に「某は肥前晴気の者で、主人の為の商を行っているが、道中盗人に会い、全てを剥取れ、このような悲惨な姿です。このまま郷に帰ったとて、主人はとても許してはくれません。それどころか、盗人に取られたことまで疑られ、折檻されるに決っております。御願いですから城中に於ける門番の作法は酉の刻に門木戸の鑰を下し鑰を城中に納め、朝の卯の刻に鑰をいただいて門を開ける。そして一日中其処此処に番人が立ち、仲々攻入るチャンスは無かった。

×　×

らこの城中で御奉公させていただき、一日たりとも命を繋がせていただきたい」とさも本当らしく頼んだ。すると　城中の者は、主馬允を不便に思い、門番役を仰せ付けた。主馬允は我石上手に出来た笈居に込み上げている笑いをぐっと抑え、聚鷺奉公に励むのであった。

玄海ゴルフ場
レストハウス出来る

緑豊かな好季に、予てより工事が急がれていた玄海ゴルフ場レストハウスがこの程完成。

この落成式が、六月一日の佳日、午前十時から、宗像大社司祭により、施主、西日本開発株式会社社長を始め、社員並びにゴルフクラブ関係者、工事関係者、地元有志等多数参列される中で、厳かに斎行された。

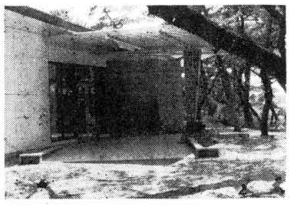
この後、引続き開所式を行い、社長の手でレストハウス正面玄関のテープに鋏が入れられると、万来の拍手が、惜みなく贈られ、直会にうつり和やかに終了した。

このレストハウスは、休憩所といった意味あいのもので、宿泊出来るように設けられたものである。

モダンなコンクリート平屋造りの一棟で、その中に十室あり、そのうち二室が和室で、玄関を入いるとすぐ食堂、調理室等がある。

この建物は、ゴルフ場より北よりの奥まった松林の中に在り、静かである。自然繁殖した松林は、ことの外美しい。

将来は、北九州と福岡を結ぶ海岸道路が、このレストハウスの前を通ることのこと、そうなると、ドライブイン、モーテルとしての開発も望まれようし、現在でも遠地からのゴルフ会員が多い為、利用者が多い場合は、増築する用意がなされている。



魚信
～大島のバリとボラ～

閑静な松林の中のレストハウスは海岸にも近い為、海の家としても充分利用出来る。

梅雨明となった。各地の釣場ニュースも色々であるが、神湊より約六粁、渡海船で僅か三十分の此の大島の防波堤では連日ボラ釣りやバリ釣りで賑っている。

ボラは月並に当ると面白い穂釣れる。今や蟹網のシーズンで毎日漁船が網刺しの小鰯を海に捨てるので、それを目当てにボラが群棲して沓集まって来る。これをねらうので釣この坊主で終る事は先ずない。釣竿は三間～三間半。道糸三号。ハリス一、五号～二号。釣針伊勢四号～五号。餌はイワシ。結んで尺以上のものだから、や、強めの竿で素早く取込む方が折角集まった魚を散らさないので効果的である。

バリは目下産卵期で腹一杯に卵をつめ込んだ大バリが波止の捨石附近に産卵場を求めて集まり。六月十日過ぎより釣り初めた。弁天丸船着場の突端か赤灯台下の深みがポイント。竿は三間～三間半硬調子。道糸五号。ハリス三号。釣針伊勢尼六～七号かチヌ四号。浮下二ヒロ程度で捨石の向側を探る。

餌はミツダンゴ、鰺切身、イワシ。当りは非常に弱くウキが僅かに波間に沈む程度で、軽く合わせる。ふきが物凄く強烈だから余り強く合わせるとハリスを切られる。又、掛ったならば竿棒強く竿をため、捨石や海の中に持ち込まれないようにする事も肝要である。

×　×

話題の新車をみる (二)
カローラ スプリンターの巻

車のスタイルの推移は激しいものである。

十年前には飛行機のようなスタイルが好まれ、その中に空気抵抗を極力少くした型となり、そして、セミファストバック、次に今日のファストバックが好まれる時代へと移行して行く、まことに面白いものである。かって、このような話を聞いた事がある。Aと云う自動車会社がBと云う車を出す事になった。さてスタイルである。製作担当本格的ファストバックを提唱、所が営業部となるとスタイルによって売れるか否かが決定する。冒険はし度くないものである。やむなくこの車はセミファストバックと云う事になったそうである。これがどうであろう、光陰矢の如しと云うか、今では、ファストバックも自然な形と変っているのである。

トヨタ自動車は三月二十五日にカローラ全車種にマイナーチェンジを行い、コラムシフト車とスポーティセダンSLを四月五日、スプリンターを五月一日に新発売した。今回はこのスプリンターの紹介をし度いこの車は昨年の第十四回東京モーターショーにニュークラウン、センチュリーと並んで参考出品された。発売は日産自動車のサニークーペに先を越された形となったが、良き対抗馬となる事であろう。特徴を一口に云えば、若者向き、そしてファストバックのスポーティカーと云う事になる。

車種は二、七三馬力SL、一方は六〇馬力普通仕様、外観による見分けは、ラジエーターグリルと後部ナンバープレート脇に貼られたSLの文字、それとGTタイプのつや消黒色塗装、砲弾型のウイングミラーである。

普通仕様とSLの相違は最高速度一四五キロ対して一六〇km/h、庄縮比九、〇に対して一〇、〇、最高出力六〇/六、〇〇〇に比べ三六、六〇〇PS/rPm。最大トルク八、五/三、八〇〇に対し九、〇/四、六〇〇m Kg/rPm。シングルキャブに対してツインキャブ、ブレーキが前輪油圧内部拡張ツーリーディング、後輪が油圧内部拡張リーディングトレーリングに対し、前輪、シングルシリンダーディスク、後輪、油圧部拡張リーディングトレーリング形式となってSLは高速車用に前輪ディスクブレーキ採用となっている。室内はトヨタ車独特の安全装置、ステアリング中央部に安全パット、柔かいスイッチノブ、独立ヒュース式ヘッドランプで、切れたとしても両方のランプが消灯しないように又、内外埋込み式のドアーハンドル、埋込式のメーター類等、安全設計、そして通気効果のすぐれた発泡ビニール製の本格的バケットシート、床に厚いカーペット等と豪華である。

暑中御見舞申し上げます

新出光石油株式会社
福岡市上呉服町1番10号
取締役会長　出光弘
取締役社長　林清治

日立製作所
九州営業所
福岡市天神2丁目12番1号（天神ビル）
電話　福岡（74）5831（大代）

宗像大社献詠 俳句作品集（六七）

巣籠れるカナリヤ一途な眼持ち　大井　吉田　杏子

摘み子えて笹のまじれる新茶籠　平等寺　中野　きみ

肩触れ合い憩う早乙女海を前　津屋崎　白石百合蔵

海光きらめく礁に岩つばめ　福岡　広田　美津

熔岩が海をうづめて五月雨　千葉　永島　哲夫

茄子苗を植ゆるや手指の老いしかな　久留米　篠田太郎坊

子等長けて二人のしじま梅実落つ　大井　木原　房子

蛙なくひと雨ごとにふえゆくや　田島　末安　大孝

神苑のあやめにそぼる緋の袴　田島　井上　託子

梅雨出水に二畝合羽田を守る　田熊　小野　淡坡

子の夫婦孫留守小春老夫婦　田熊　小野かをる

（鐘崎海岸より）　平等寺　中野　きみ

夏の灘晴れて大島一望す　大井　吉田　和子

出光佐三一問一答シリーズ ㉓

マルクスが日本に生まれていたら

ところが金を尊重するということは、経費を節約する、無駄をはぶく、自分をつつしむ、合理的に経営する、等々のことなんだ。この資本主義時代には、金を無視することは自己破滅だ。だからこれを尊重しなければならんが、金に入間が振り回されちゃならん、ということなんだ。つまり、人間が金や物の主人になるということだね。このことは別の言葉で言えば、出光では、資本は人なり、資金は金なり、となっている。

その次の、法律・組織・機構の奴隷になるなということだが、ぼくは法律・組織・機構が不要であると言っているのではない。立法の主旨、組織をつくる目的など、それぞれ立派な意義がある。社会を構成し、その中で働き、人が自発的に和の姿を保って、仲良く能率をあげるための必要な法律・組織などは、尊守し、尊重せねばならぬのは当然である。ただそれらを対立闘争の道具にしたり、法律・組織をむやみやたらにつくって、屋上屋を架するようなことをやり、それに人間が縛られて人間らしい判断力を失い、烏合の衆になってしまうことがいけない、と言っているんだ。

それから権力の奴隷になるということだが、権力者が奪取したり、人間の尊厳や、自由を無視して圧迫したりすることは、人間が権力の奴隷になっている姿であり、ぼくはそれを戒め、そういう権力に対して絶対たかってきたんだ。しかし権力が全部悪いと言っているのではない。なんでもかんでも権力に反対するのではなくて、それが仲良く平和社会生活を営むために、正しい心から生まれた政治なり指導なり、あるいは統制などであれば、もちろん、社会を構成している一員である以上、当然それに従い、それを尊重していかなければならない。

次に、数や理論の奴隷になるということについてだが、これも、世論や理論・学問を無視せよと言っているのではない。多数の意見を聞くことは当然であり、とくに真なる声に耳を傾けるということは切である。ただ、数や理論にとらわれて人間の正しい判断力、人間の質を見失ってはいかん、ということを言っているんだ。

最後に、主義の奴隷になるなということも、それらを無視せよということではない。主義には必ずなにかそこにいいものがあるはずであるから、それは採り入れ、尊重しなければいけないが、人間の最高の目標たる人類の平和・福祉を目指すには、主義の奴隷になって対立闘争してはいけない。すなわち、人間が主義の上に超然として、平和に仲良く暮らすために、それらの長短を取捨選択していかなければいけない、ということをぼくは言っているんだ。

ぼくは一生、終始一貫言っている。社会は人間が構成しているから人間が中心である。そして二人以上仲良く暮らすことである。それには「お互いに」という和の考えをもたねばならぬ。人間の矛盾性から当然出てくる我欲・利己・わがままを主張することをつつしみ、お互いに譲り、お互いに助け合う、というすごく簡単な福祉の真理を実行に移すことである。この実行は、矛盾性をもつ人間には至難中の至難である。言うは易く行なうは難し、ということである。この簡単な真理を、微に入り細をうがって面倒くさくしているのが、哲学のように思えてならない。同時に学問や理論とらわれて、むやみやたらと対立闘争を強化しているが、主義の奴隷になっている人のように思われてならない。いかにすれば仲良くなれるか、この簡単なことを実行することである。これが人間のすることであり、人間の尊厳である。自分がつくった社会に自分が矛盾性を発揮しているのは、その社会の間違いを正すことが、人間のすることであって、その社会に人間が左右されるということは、人間の矛盾性の奴隷になれということではないか。仲良くするという、人間の尊厳性が、人間以外のすべてを支配し、活用することであって、尊厳と矛盾との本末をとり違えてはならない。人間は社会の奴隷になってはならない。あくまでも社会の中心となって、平和・福祉の社会をつくらねばならぬ。

18 唯物史観と日本の歴史

質問　これまでマルクスの弁証法的唯物論に対して、店主の考えをいろいろとお聞きしてきましたが、次にこの弁証法唯物論を歴史、社会発展に適用したマルクスの唯物史観について、お伺いしたいと思います。

マルクスは歴史が発展することを認め、具体的にはじの民族の歴史も、原始共産社会から奴隷制社会へ、さらに農奴制社会へ発展し、この農奴制社会から資本主義社会が生まれ、やがてこの資本主義社会が崩壊して社会主義社会が実現する、と言います。店主はこのような歴史発展の考え方に対してどのように考えてすか。

出光　マルクスの育った対立闘争の西欧の「物の国」の歴史は、そのとおりになるのはあたりまえだけれども、日本の和の「人の国」の歴史には、あてはまらんよ。明治以前の日本を考えれば、事実が証明している。日本には奴隷も農奴もなかったからね。

対立闘争の国は理論の奴隷だから、一プラス一イコール二というような法則で証明できるかもしれないが、人を中心とする日本では一プラス一イコール二プラス人情、それに和の国体を加えなければ答は出てこない。要するに、日本と外国とでは、白と黒の違いが何千年前どころか、何万年も前に出来上がっているのだから、日本にはマルクスの「物の世界」の法則をそのままあてはめてはならない。

質問　すると日本の歴史はマルクスの言うように、古代から封建社会、そして現代の社会に進んできたのではない、と言われるわけですね。

出光　人間の歴史の各時代をどう名づけるかなどは、問題ではないんだ。そしてまた人間の物質的な生活条件とか、技術的な生産方法などは、昔と今では、確かに進んできているよ。しかしぼくが歴史を見るときにいちばん強調したいことは、歴史の中に流れている本質的なものがなにか、ということだね。そういう観点から見れば、西欧と日本とではまるっきり違う。

いつも言うように、西欧は我欲と利己の祖先からはじまって、征服―革命、征服―革命とつづいてきているから、国民はいつも生命・財産の危機にさらされて頼るものがない。否応なしに国民は物質に頼り、自分に頼るようになる。したがって西欧の歴史は、物質を中心として対立闘争して動いてきたと言える。

それに対して日本は無我・無私・無欲の祖先からはじまり、皇室が中心におられて、無防備の住まいをなされ、国民は外国のような生命・財産の危険を感ずることなく平和に二千年もずっと暮らしてきた。この皇室を中心として、国民が心と心でつながって仲良く暮らしてきたということが、日本の歴史の真髄なんだ。物の面から見た歴史は、それにくっついたものなんだ。

（つづく）

文久三年 吉田主水致兼 〃滞京中日記〃

十三日晴天、八尋殿家行き相仕舞い、早中飯より御所拝見、それより満寿寺念仏尺を作る。蝋燭掛串貫いに行けども、六月までの先注文あるにつき出来合いなしとい、京中半左ヱ門方の外はなしという、それより段々詮議するに、五条満寿寺東洞院東へ入る。さし屋東へ入る大谷という所にありと聞く。また大谷を尋ねて行けども今は作り申さずという。

十四日晴天、八尋殿の家に行き勤めを仕舞い、東本願寺西本願寺に参る。東の方は三十四年前に焼失仕ると聞く。それ故御堂新しく、普請等いまだ成就せざる折りからなれども甚だふときこと行々舗き身なり。西の方は御堂少しは小さけれども見事なり、しかも一間の畳敷き百二十枚敷きもありとおぼしき間、三百五間とあり、御堂二ツならびに廊下あり、その長さ広きこと天へんに太し、東本願寺の開山はしんらん聖人の由と聞き侍る。

十五日晴天、朝八尋殿勤め相仕舞い、終日休み見物にも行かず。

十六日雨天、五ツ頃より天気になる。中飯仕舞い、黒谷真如堂知恩院閲大仏清水音羽滝大仏の三十三間堂、その外天満宮明智光秀の塔弁財天、その外寺々数々参詣す、三十三間堂は誠に仏の数多し、表に矢を射つと垂木などに立ちこと中々に多し、祇園新地より西よりに明智光秀の塔あり。

十七日雨天、三条辺に石帯鳥帽子冠などを約束に行けども出来ず、ついては石川端通り三条大橋北へ入る祇園屋善吉郎方に、石帯皆鳥帽子右四品とも九日限り頼む。手付け二朱遣置く。

十八日朝曇り後は晴天、愛宕山権現に参詣す、神前の額勝軍宮とあり、奥の院左の奥にあり、またその奥に出世和合大黒天を祭れり、なれども甚だふときこと行々舗き身なり。その外末社も数々あり、中々清浄なること、また石さし坂廊下作りあり、その社地の風景大いに結構なり、いずれも小板葺きなり、祭りの道々には二軒三軒づつ茶屋あり、麓より山上まで茶屋甚だ多広きこと天へんに太し、東本願寺の開山はしんらん聖人の由と聞き侍る。

十九日晴天、中飯仕廻い三条通りより鉄、下桜馬場辺に出る、半櫃二ツを升屋助兵ヱ方にて買い求む金一歩払い旅宿まで持参仕るべき旨に申候得ども、中々に出来ずという、余儀なく自分に持ちる、同日は三条町は、軍書、高談、噺し、物まね、左ヱ門くどきなどさまざま舞をかけ種々聞くこと多し、この処は日々寺に参詣の人中々おびただしきことともなり。

これに対して、こうしたらよいだろうと意見をいうと、いやこれはわかっているのだけれども、なんら手のほどこしようがないのだというのがふつうの答えである。こういった欠陥があることがわかっていて、しかもなんら手がほどこされないという現象が、非常に長期間にわたって続くということが一般に見られる。ところが長い間そういう状況が続いていて、それから突然に大きな根本的な変化が起きる。その変化が起きたときに機をつかんで、伸びる企業体というものが、大きな成長を遂げるということがいえる。

日本企業の生産性は向上する

なお一つの例をあげてこれから先一〇年の間に、日本の企業として取り上げるべき一つの面についての示唆にしたいと思う。

日本の国家経済の基本的な弱点はどこにあるかというと、日本の国民の購買力の低いことであるといえる。これは単に経済上の危険ではなくて、社会的な問題にもなり得るものである。

若い教育を受けた優秀な人たちが、十分の給料をもらってないということは企業家なら誰も気づいて、他の国にはみられない問題が存在している。というのは日本の企業で働いている人々は、世界のどの従業員と比べてみても、非常に勤勉であり、しかも秩序正しく労働に従事している。

そこで、個人個人の比較をすれば生産性のある国民が、全体的にみると生産性が低いということには、なにか社会的な要因があるのではないかということを考える。私はそれがないかということについて明確な判断はしませんが、要するに仕事のくみ方、仕事の段取り、なわちマネジメントになにか欠陥があるというふうに感じている。

経営とは何かPFドラッカー

松崎武俊

わらず、日本の生産コストというものは、決して世界的にみて低い水準ではないということも事実である。

そこで、日本の大きな問題として生産性の問題があるが、しかしこれは日本独特の生産性問題であっていることと思う。それにもかかわ